

「いつ」「ようす」「わけ」をしらべよう

① 「いつ」がわかるところに 黒で せんをひきましよう
「ようす」がわかるところに 赤で せんをひきましよう

① 春になると、
たんぽぽの
黄色い きれいな
花が さきます。

② つぎの ひょうを うめましよう



いつ	ようす

① 「いつ」は黒で 「ようす」は赤で 「わけ」は青でせんをひきましよう

② ニ、三日 たつと、

その 花は しぼんで、
だんだん 黒っぽい

色に かわって いきます。

そうして、たんぽぽの 花の じくは、
ぐったりと じめんに たおれて しまします。

③ けれども、たんぽぽは、かれて

しまったのでは ありません。花と じくを
しずかに 休ませて、たねに、たくさんの

えいようを おくって いるのです。

こうして、たんぽぽは、たねを どんどん
太らせるのです。



② つぎの ひょうを うめましよう

いつ		ようす
わけ		

① 「いつ」は黒で 「ようす」は赤で 「わけ」は青でせんをひきましよう

④ やがて、花は すっかり かれて、その
あとに、白い わた毛が できて きます。

⑤ この わた毛の 一つ一つは、ひろがると、
ちようど らっかさんのようになります。
たんぽぽは、この わた毛に ついて いる
たねを、ふわふわと とばすのです。



② つぎの ひょうを うめましよう

いつ	ようす
わけ	

① 「いつ」は黒で 「ようす」は赤で 「わけ」は青でせんをひきましよう

⑥ この ころに になると、それまで たおれて
いた 花の じくが、また おき上がります。
そうして、せのびを

するようにな、
ぐんぐん のびて
いきます。



⑦ なぜ、こんな ことを するのでしょうか。それは、
せいを 高く する ほうが、わた毛に 風が よく
あたって、たねを とおくまで とばす ことが
できるからです。

② つぎの ひょうを うめましよう

いつ		ようす
わけ		

① 「いつ」は黒で 「ようす」は赤で 「わけ」は青でせんをひきましよう

⑧ よく 晴れて、風の ある 日には、わた毛の
らっかさんは、いっぱいに ひらいて、とおくまで
とんで いきます。

⑨ でも、しめり気の 多い 日や、雨ふりの
日には、わた毛の らっかさんは、すぼんで
しまいます。それは、わた毛が しめって、
おもく になると、たねを とおくまで
とばす ことが できないからです。

② つぎの ひょうを うめましよう



	わけ		いつ
			ようす